

かながわPayの加盟店・利用者の増加に向けた取り組み

		加盟店	利用者
第1弾	初期	<ul style="list-style-type: none"> ●市町村や商工会、県政センターなどで周知チラシ2種配架（加盟店登録案内、利用者案内） 	<ul style="list-style-type: none"> ●ポイント上限10,000円で開始 ●サインージ、電車広告等も実施
	後半	<ul style="list-style-type: none"> ●各店舗に広報サポート費として5000円の補助を決定 →サポート費配布を記載したNEWチラシを改めて配布 ●商工会、商店街(6か所)、業界団体（タクシー協会、自転車商組合、飲食業組合、書店組合、理美容師組合など）を直接訪問し、会員への周知依頼 ●タクシー協会を通じ、事業者を集めた説明会開催など 事業者に直接アプローチ(訪問説明) <p>※加盟店の負担となる決済手数料の考え方や、売上管理方法などの制度説明も含む</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●ポイント上限を30,000円にアップ →NEWチラシを改めて配布 ●YouTube、インスタ、ツイッター広告などで周知
最終		約18,000店	約100万DL

第2弾	初期	<ul style="list-style-type: none"> ●市町村や商工会、県政センターなどで周知チラシ2種配架（加盟店登録案内、利用者案内） ●好事例集の公開開始 <p>★この頃から取材多くなりメディア露出増 ・都道府県で100億規模キャッシュレス事業は他に無かった ・独自アプリ（地域利用限定）のキャッシュレス決済事業は都道府県初</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●認知度も高まり、さらに加盟店の増で、利便性も高まり利用者も増える ●ポイ活効果が身近に
	後半	<ul style="list-style-type: none"> ●関係団体(商工会や商連など)3団体を通じて、会員への周知依頼 ●商工会3か所、商店街11か所を直接訪問し、店舗を集めた説明会開催や説明ブース設置により、利用方法や申請手続きをサポートするなど、直接アプローチ(訪問説明) 	<ul style="list-style-type: none"> ●県内商業施設でのサポートイベント（12会場、計13回） ●県内ドコモショップ全店舗での対面サポート →主に高齢者の登録者が増加（第1弾 8万人→第2弾 17万人）
最終		約24,000店	約185万DL

第3弾	初期	<ul style="list-style-type: none"> ●県政センターなどで周知チラシ2種配架（加盟店登録案内、利用者案内） ●商工会主催会議での周知依頼(お知らせ) 	<ul style="list-style-type: none"> ●アプリ改修で告知機能強化 ●県内商業施設でのサポートイベント（12会場、計13回） ●県内ドコモショップ全店舗での対面サポート ●シニア向けコミュニティアプリでのキャンペーン案内 →主に高齢者の登録者が増加（第2弾 17万人→第3弾 28万人）
	最終	約25,000店	約280万DL

※2弾で高評価となり、取材も多くなり、メディアへの露出が増加(新規での特段のアプローチ無)